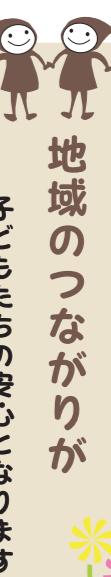


高校生が考える人権課題

子どもの人権とそれを解決するために



福祉教養コース

『子どもたちの希ある未来のために』

小郡にある県立三井高校では、毎年スポーツ健康コース、福祉教養コースの生徒たちを中心とした『三井高校発表会』が行われています。昨年度も12月に開催されました。

その発表の中に、**子どもの人権**をテーマにした福祉教養コースの生徒のレポートを見た。啓発冊子アンケートでもっとも関心の高かった子どもの人権について、高校生がどのような気持ちで臨んだのか、そしてその課題解決のためにどのような提案をしているのか、高校生の話やレポートを紹介します。

高校生のレポートにはこんなメッセージが書かれています。子育て中の大人にもストレスなどいろんな事情があります。家にも職場にも居場所がない時は、大人も第2の居場所が必要です。それは友だち、地域の知り合いなどで、話せる人がいることだと思います。そして、私たちの願いは、人が無関心でなく、子ども一人ひとりに目を向け、守つてあげられる地域がつく

らることです。お隣に住んでいる方の顔がわかる、学校帰りには近所のおじちゃん、おばちゃんが「おかえり」と声をかけてくれる、知らない人でもそれ違う時には自然と挨拶を交わす、そんな昔当たり前だった光景が見られるようになれば、子どもたちが安心して心から笑える環境になると思います。



▲きりっと素敵な高校生

かる、学校帰りには近所のおじちゃん、おばちゃんが「おかえり」と声をかけてくれる、知らない人でもそれ違う時には自然と挨拶を交わす、

そんな昔当たり前だった光景が見られるようになれば、子どもたちが安心して心から笑える環境になると思います。



福祉教養コース

『子どもたちの希ある未来のために』

福祉教養コースの生徒たちが選んだテーマは『児童虐待』。自分達に身近なテーマかなという理由で選んだそ

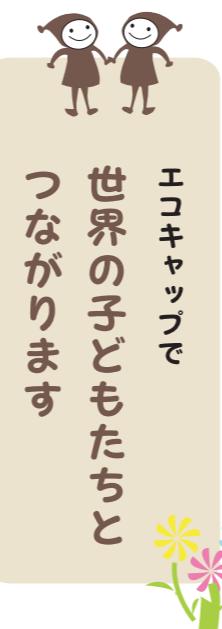
うですが、70人程のアンケートをした中に、2人が実際に関わりがあるという回答を得て、本当に身近なことだと実感したとのことでした。

高校生のレポートにはこんなメッセージが書かれています。子育て中の大人にもストレスなどいろんな事情があります。家にも職場にも居場所がない時は、大人も第2の居場所が必要です。それは友だち、地域の知り合いなどで、話せる人がいることだと思います。そして、私たちの願いは、人が無関心でなく、子ども一人ひとりに目を向け、守つてあげられる地域がつく

ることで子どもの虐待をなくすことを呼び掛ける市民運動です。特定非営利法人・児童虐待防止全国ネットワークでは、オレンジリボン運動を通して子どもの虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に关心をもっていただき、市民ネットワークにより、虐待のない社会を築く事を目指しています。

「虐待かな?」と思つたら

児童相談所全国共通ダイヤル
0570-1064-000



始まりは文化祭で、最初の出会いは中学校

ペットボトルキャップ回収

小郡高校では22年度の文化祭で、生徒会が中心になってペットボトルキャップ回収運動を行いました。その時の目標が一万個でした。この活動を見ていた家庭科クラブ員が、昨年の10月からクラブ活動として回収を始めています。今回も目標は一万個。

体育祭のシーズンにペットボトルが大量に校内にあるのを見て、「なんとか…」と思つたことが動機。この活動は、リサイクル、そして、世界の途上国の子どもたちへワクチンを送るという社会貢献活動にもなっています。さらに、クラブ員にとっては中学校（大原中学校）でも取り組んでいたので、エコキャップ回収運動には馴染みがありました。小中学校の取り組みが子どもたちの将来の活動や考え方に対するヒントを与えているんですね。

家庭科クラブでは、ベルマーク運動（小郡特別支援学校への寄付）やリサイクルファッショングシヨー（古着を使った服の製作）など様々な活動を行っています。



元気いっぱいの高校生！▶
できる時に、できることをやつづ！

キャップでつながる人権の輪

途上国の人たちにワクチンが届けられます

ワクチン寄贈団体
NPO法人世界の子どもにワクチンを

日本委員会

NPO法人エコキャップ推進協会



キャップは細かくされて再形成され、植木鉢などの商品になり販売されます。

1kg 20円で引き取られ
ワクチン購入費となります。

ペットボトルリサイクルの仕組み
ペットボトルキャップを回収します

リサイクル業者に持っています

オレンジリボン運動
子どもの虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで子どもの虐待をなくすことを呼び掛ける市民運動です。特定非営利法人・児童虐待防止全国ネットワークでは、オレンジリボン運動を通して子どもの虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に关心をもっていただき、市民ネットワークにより、虐待のない社会を築く事を目指しています。

「虐待かな?」と思つたら

児童相談所全国共通ダイヤル
0570-1064-000